

びわ湖ホール オペラへの招待



林 光作曲

オペラ

全2幕

(室内オーケストラ版 / 日本語上演・日本語字幕付)

森林は生きています

つき
12の月のすてきなプレゼント

原作：サムイル・マルシャーク / 訳：湯浅芳子

台本・作曲：林 光 / オーケストレーション：吉川和夫

指揮：沼尻竜典 (びわ湖ホール芸術監督)

演出：中村敬一

ピアノ：渡辺治子

管弦楽：日本センチュリー交響楽団

美術：増田寿子

衣裳：半田悦子

照明：山本英明

音響：小野隆浩 (びわ湖ホール)

舞台監督：牧野 優 (びわ湖ホール)

出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル

	[1/26・28]	[1/27・29]
1月・総理大臣	市川敏雅	平 欣史
2月・廷臣	藤居知佳子	奥本凱哉
3月・リス・オオカミ・廷臣	坂田日生	船越亜弥*
4月・カラス・警護隊長	有本康人	清水徹太郎*
5月・ウサギ・もう一人の 兵士・大使夫人・廷臣	藤村江李奈*	大川 繭*
6月・もう一人の娘・ リス・廷臣	山岸裕梨	森 季子*
7月・むすめ・廷臣	脇阪法子	熊谷綾乃
8月・女官長・オオカミ	阿部奈緒	中嶋康子*
9月・おっ母さん・廷臣	山田知加	益田早織*
10月・女王	山際きみ佳*	佐藤路子*
11月・兵士	谷口耕平	宮城朝陽
12月・博士・古老	美代開太	松森 治*

*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

2023年 1月26日(木)・27日(金)・28日(土)・29日(日)

各日とも14:00開演(13:30開場 / 16:45終演予定)

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール

チケット発売日 一般発売 / 10月29日(土) 10:00～ 友の会優先発売 / 10月27日(木) 10:00～ <ネットチケット・電話受付のみ>

一般6,000(5,500)円 青少年(25歳未満)2,000円 シアターメイツ1,000円 [全席指定・税込]

※()内は友の会会員料金 ※シアターメイツ入会については裏面をご覧ください

チケット取り扱い・お問い合わせ / びわ湖ホールチケットセンター TEL.077-523-7136 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

(10:00～19:00 火曜日休館、休日の場合は翌日。12/29、1/1～3は休館。12/30は電話受付のみ、12/31は10:00～17:30営業。)

主催：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 後援：滋賀県教育委員会、エフエム滋賀 助成：公益財団法人平和堂財団

第52回滋賀県芸術文化祭参加事業

一本公演は「びわ湖ホール舞台芸術基金」を活用して上演いたします



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー



叶匠壽庵



平和堂



谷口工務店

びわ湖ホール オペラへの招待

林 光作曲

オペラ

森は生きている 全2幕

〈びわ湖ホールオペラへの招待〉は、子どもから大人、オペラが初めての方から大好きな方までお楽しみいただけます。『森は生きている』は、マルシャークの名作を原作に、林 光が日本語のテキストに作曲した珠玉のメロディーがいっぱいの人気作で、びわ湖ホールでは2000年に沼尻竜典が声楽アンサンブルとともに室内オーケストラ版を初演しました。今年度、びわ湖ホール芸術監督を退任する沼尻が、任期最後にこの思い出深い作品を選びすぐりのメンバーとともに贈ります。

〈あらすじ〉ある大きな国のおおみそか。むすめは、わがままな女王が気まぐれにだした“おふれ”のために、冬に咲くはずのないマツユキ草を探しに雪深い森へ出かけます。そこで出会ったのは12の月の精たち。心優しいそのむすめのために4月の精は、ほかの月の精たちに頼んで1時間だけ「時」をゆずってもらいます。すると雪は消え、目の前にはたくさんマツユキ草が…！マツユキ草を手に入れたむすめは、12の月の精の秘密を誰にも話さない約束し、4月の精に指輪をもらい帰ります。そしてマツユキ草を渡された女王は、廷臣たちが引きとめるのにもかかわらず、自らもマツユキ草を摘むために、むすめの指輪を持って吹雪の森へと出かけていきます。そこで冬の森の厳しい寒さや大変な経験を経て、女王は大切なことを学ぶのでした。

沼尻竜典 (指揮) Numajiri Ryusuke



びわ湖ホール芸術監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。2022年度より神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。1990年第40回ブザンソン国際指揮者コンクール優勝後、国内オーケストラの主要ポストを歴任。海外での活動も多く、ロンドン響、モントリオール響、シドニー響、ベルリン・ドイツ響等欧米各国のオーケストラを客演指揮。オペラ指揮者としては1997年『後宮からの誘拐』でデビュー以後、国内外で数々の演目を指揮。びわ湖ホールでは1998年の開館より、〈青少年オペラ劇場(現・オペラへの招待)〉の指揮を担当し、2007年第二代芸術監督就任後は「プロデュースオペラ」(沼尻竜典オペラセレクション)等数々の公演を成功に導いている。作曲活動も行っており、自ら脚本も手がけた歌劇『竹取物語』は、びわ湖ホールも含め繰り返し上演されている。2017年紫綬褒章受章。

中村敬一 (演出) Nakamura Keiichi



武蔵野音楽大学、同大学院で声楽を専攻。後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。1989年より文化庁派遣在外研修員としてウィーン国立歌劇場にてオペラ演出を研修。帰国後、数々の作品を手掛け、びわ湖ホールでも〈青少年オペラ劇場〉(オペラへの招待)シリーズで多くの演出をしている。1995年ジロー・オペラ賞新人賞、2001年大阪舞台芸術奨励賞を受賞。国立音楽大学、大阪音楽大学、洗足学園音楽大学客員教授。

渡辺治子 (ピアノ) Watanabe Haruko



東京芸術大学別科修了後、チェコ共和国政府給費奨励学生としてプラハ芸術アカデミーにて学ぶ。ソリストとして活動するかたわら室内楽の共演も多く、アンサンブルピアニストとして共演者から厚い信頼を得ている。'02年ドヴォルザーク国際音楽祭に日本人ソリストとして初めて招待を受け好演、その後も数年にわたり出演している。シューベルト/ドヴォルザークのピアノ五重奏のCDは、チェコフィル室内楽シリーズの1枚に選ばれた。

日本センチュリー交響楽団

Japan Century Symphony Orchestra

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」をはじめ教育プログラムや地域連携事業にも力を入れている。オフィシャルホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>

びわ湖ホール声楽アンサンブル BIWAKO HALL Vocal Ensemble

監修:沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督)

名誉指揮者:田中信昭 桂冠指揮者:本山秀毅 指揮者:大川修司
日本初の公共ホール専属声楽家集団。「声楽アンサンブル」とはドイツ語圏の歌劇場においてオペラのソリストを担う劇場専属歌手を意味する。ソリストとしての高水準な実力だけでなく、アンサンブル、合唱の中核となり得るバランスのとれた声楽家により構成されている。びわ湖ホール自主公演への出演を主な活動とする一方、音楽の普及活動も積極的に行っている。過去に籍したメンバーは総勢60名を超え、活動期間を終了したものは「ソロ登録メンバー」として、多数のコンサートやオペラに出演するなど幅広く活躍している。2013年第26回大津市文化賞、2017年第42回滋賀県文化賞受賞。

〈チケット取り扱い〉

■びわ湖ホールチケットセンター TEL.077-523-7136

(10:00~19:00 火曜日休館、休日の場合は翌日。12/29,1/1~3は休館。)
(12/30は電話受付のみ、12/31は10:00~17:30営業。)

インターネット・チケット受付 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード213-809)

■ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード52026)

■e+(イープラス) <https://eplus.jp/> (座席選択サービスあり)



【注意事項】

※6歳未満のお子様はご入場いただけません。※シアターメイッツチケットはびわ湖ホールチケットセンター電話受付・窓口のみの取り扱いです。※友の会優先販売期間中の窓口販売はありません。※お申し込みいただいたチケットのキャンセル、変更はできません。※チケットお申し込み後、期限内に所定の手続きをされなかった場合は、チケットの販売・お引き渡しをお断りします。※やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。※テレコイル機能のついた補聴器や人工内耳を使用されている方は、テレコイルモードに切り替えるとヒアリンググループを利用した音声をお楽しみいただけます。

【兵庫公演】

11月発売

日本オペラプロジェクト2023
森は生きている

2023年3月25日(土)、26日(日)
両日とも14:00開演

兵庫県立芸術文化センター
阪急 中ホール

《お問い合わせ》
芸術文化センターチケットオフィス
TEL.0798-68-0255
(10:00~17:00 月曜休み ※祝日の場合翌日)

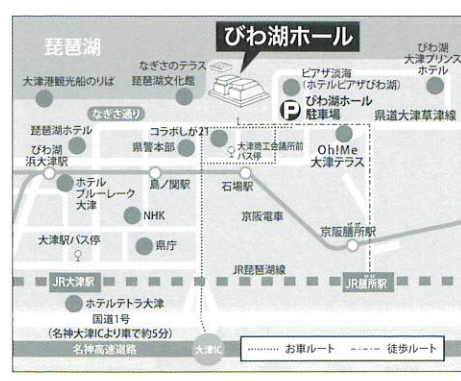
シアターメイッツ会員募集
(入会金・年会費 無料)

6歳以上18歳以下の方ならどなたでも入会できます。優待対象公演を青少年料金の半額でご覧いただけます。詳しくはびわ湖ホールチケットセンター TEL.077-523-7136まで



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下についてご理解、ご協力をお願い申し上げます。

◎滋賀県のガイドラインに基づいた客席数のチケットを販売します。◎来館時は必ずマスクを着用ください。◎発熱、体調不良の場合は、来館をお控えください。◎館内に手指消毒用アルコールを設置していますので、ご利用ください。◎入場時には体温チェックを実施します。37.5度以上の発熱がある方は入場をお断りいたします。入場までにお時間がかかることが予想されますので、十分な余裕をもってお越しください。◎入場時等は一定の距離を保ってお並びください。開演前、休憩時間では極力会話を控えください。◎プログラム等の配布物は所定の位置に設置しますのでご自身でお取りください。◎スタッフも全員マスクを着用し、極力声をささないようにいたします。また、フェイスシールドや手袋を着用する場合もございます。◎クロークは利用できませんので、お荷物物を少なくしてご来場ください。◎出演者への差し入れ・面会はお控えください。また、出演者によるお見送り等はございません。◎万が一、公演後に感染症を発症された方がいらっしゃった場合は、保健所等の公的機関に求められた場合に限り、チケット購入者の名簿を提出いたします。◎感染予防対策をはじめ、やむを得ない事情により、当日の対応等に変更が生じる可能性があります。



託児サービスのご案内

- 対象 / 1歳以上、6歳未満
- 利用料金 / 1公演・お子様一人につき1,000円
- 開設時間 / 13:30~公演終了後30分まで
- 申込方法 / 2023年1月19日(木)までにびわ湖ホールチケットセンター TEL.077-523-7136にお申込みください。

【びわ湖ホールへの交通のご案内】

- JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、またはバス湖岸線約5分(大津駅工芸館前下車、徒歩約4分)
- JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

【駐車場の案内】
有料849台 24時間営業
※詳細はびわ湖ホールホームページにて

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 (代)
<https://www.biwako-hall.or.jp/>